

2015年度第1回 P&I 研究会シンポジウム

「フレキシブル基材と印刷エレクトロニクス～【ウェアブル】は見えてきたのか？」

主催 : (社)日本印刷学会 技術委員会 P&I 研究会主催
協賛 : 高分子学会、日本化学会、応用物理学会、色材協会、日本写真学会、日本画像学会、
画像電子学会、有機エレクトロニクス材料研究会、フォトポリマー懇話会、日本印刷産業連合会、
日本印刷産業機械工業会。
日時 : 2015年7月7日(火) 13:00～18:00(受付開始 12:30)
会場 : 富士フイルム(株)東京ミッドタウン本社201会議室

開催趣旨

印刷エレクトロニクス、という言葉に期待を寄せる大きな分野が「ウェアブル:着る電子機器」ではないでしょうか。ヒトに寄り添う高い安全性と可変形性、電子機器として十分な機能を果たす材料的性質、更に量産性に優れるなど、フレキシブル基材とこれによる印刷応用の可能性は広がっています。今回はペーパーエレクトロニクスにまで対象を広げ、さまざまな興味深い実例を交えることで、ウェアブルの現状と今後について議論を深めて頂きたいと思います。

プログラム

- 13:00～13:50 ウェアラブルデバイスと印刷技術
注目されているウェアラブルデバイスの将来展望とともに、それに向けた印刷技術の現状と今後の可能性を解説いたします。
産業総合研究所 吉田 学
- 13:50～14:40 印刷によるペーパーセンサー開発
紙を中心とした印刷によるバイオセンサーなどの開発例を紹介し、紙によるセンサーへの展開可能性を解説いたします。
筑波大学 江前 敏晴
- 14:40～15:30 精密印刷機によるフレキシブル基材への細線印刷プロセス
薄板ガラス基材、樹脂シート基材へのR2R印刷によるメタルメッシュ、配線印刷を中心に、精密印刷機によるフレキシブル基材への細線印刷プロセスについて報告します。
ナカンテクノ株式会社 西 紀昭

----休憩----

- 15:50～16:40 紙内部のナノ-マイクロ空間を活用するペーパー
エレクトロニクス開発
ガラスやプラスチック基板にはない、紙特有の繊維ネットワーク空隙構造を活用して開発した「電気を流す透明な紙」、「デジタル情報を記憶する紙」、「蓄電紙」等について紹介します。
大阪大学 古賀 大尚
- 16:40～17:30 名刺交換会

定員 : 70名
参加費 : 会員・協賛団体会員7,000円、教職員・シニア2,000円、学生1,000円、非会員9,000円
申込先 : (一社)日本印刷学会 〒104-0032 東京都中央区新富1丁目16-8
E-Mail: nijspst-h@attglobal.net FAX: 03-3552-7206 TEL: 03-3551-1808
申込方法 : 日本印刷学会のホームページ<http://www.jspst.org/>からの参加登録をお願いします。
セミナー・講座・シンポジウムから本シンポジウムを選択してお申し込みください。
E-Mailまたはファックスでも結構です(氏名、所属、連絡先、会員の有無を記入ください)。
支払いは当日受付でお願い致します。定員がありますので、お早めにお申し込みください。
お断り : 事情によりプログラムまたは講師を変更する場合があります。